

令和6年度
事業報告書

令和7年5月
学校法人 竹早学園

目 次

- I. 法人の概要・・・・・・・・・・ 1
- II. 法人の事業概要・・・・・・・・ 5
- III. 財務の概要・・・・・・・・・・ 7
- IV. 各部門の活動の状況・・・・・・・・ 8

I. 法人の概要

1 建学の理念・教育目標

(1) 建学の理念

日本の幼児教育者育成の先駆けとして138年にわたって、幼児教育界に貢献してきた本学は「誠実にして有為な幼児教育者の養成」ならびに「知・情・意等の芽生えを育み、心身の健全な涵養を図り、円満な人格形成の素地を養成」を建学の精神としている。

- ・本学は、これまでに培ってきた「幼児教育者養成としての歴史と伝統」を基盤に、きめ細やかな教育指導を行い、高い専門性を身に付けた、実践力のある保育者を養成する。
- ・本学は、社会の要請に応えることのできる、創造性豊かで、社会のあらゆる場で活躍のできる有能な人材を養成する。
- ・本学は、人間教育に力を入れ、知・情・意・体のバランスのとれた人材を養成する。

(2) つつじがおか幼稚園の教育目標

(i) 目ざす園児の姿

- ①心身ともに健康な子ども（体）
- ②友達と仲良く助け合う子ども（情）
- ③個性豊かで創造力に富む子ども（知）
- ④物事に進んで取り組む子ども（意）

(ii) 本園の方針

「一人一人を見つめ 一人一人を伸ばす」

- ①「本園に入園してよかった」と子ども・保護者一人一人が充実感をもつ園
- ②全教職員で全員の子どもをみつめ、寄り添い、育てる園
- ③園児一人一人に目・手・言葉・心をかけ、自立の支援を行う園

(3) 竹早教員保育士養成所の教育の目的・3つのポリシー

(i) 教育の目的

乳・幼児期は、乳・幼児が生活の流れの中で直接的・具体的な体験を通して、人間形成の基礎を培う重要な時期です。多くの乳・幼児にとって、幼稚園や保育所（園）、認定こども園などでの生活は両親から離れ、同年代の子どもと一緒に過ごす初めての集団生活です。保育者にとって乳・幼児は、幼くてかわいいという存在であり、乳・幼児にとって保育者は、その成長に全人格でかかわっているという存在です。「教育は人なり」と言われてきました。この言葉の意味は、人間の持つ魅力・人間としての行為、人間としての思いやりなどが、他の人間に影響を及ぼし、その人格形成に大きな要素となっているということです。保育者を目指す学生は、自らの理想とする保育者像をイメージし、社会的常識（挨拶や言葉遣いなど）を身に付け、各種の技能を磨き、その実現のために努力することが求められています。

本校では、学則第一条に「本養成所は、教育基本法及び学校教育法並びに児童福祉法の理念に則り、誠実で有為な幼稚園教員、保育士を養成することを目的とする」と掲げ、教育活動に取り組んでいます。

(ii) 3つのポリシー

○ディプロマ・ポリシー

竹早教員保育士養成所は「誠実で有為な幼稚園教員、保育士を養成する」を教育の目的標としていることから、所定の単位数を修得し、次に示す能力や知識・技能を身に付けた学生に卒業を認定する。

- ①保育者としての使命感の自覚及び求められる専門的知識と思考力・判断力
- ②教育・保育の場における様々な課題に対応できる実践的な技能
- ③教育・保育活動に必要とされるコミュニケーション能力及び多様な人と協働する力

○カリキュラム・ポリシー

本課程は教育職員免許法に定める幼稚園教諭2種免許状及び児童福祉法施行令に基づく保育士資格の取得要件を基盤に「誠実で有為な幼稚園教員、保育士を養成する」ことを目的とし、2年間の学修で理論と実践を体系的に学べるカリキュラム構成になっている。

カリキュラムの編成は以下のようになっている。

- ①保育の本質や目的を理解し、子どもの成長・発達について学ぶカリキュラム
- ②保育内容と指導法について理論に裏付けられた実践力を身に付けるカリキュラム
- ③子どもの生活と遊びを豊かにするために必要な知識や技術を学ぶカリキュラム
- ④教育実習、保育実習、保育補助活動等の実践的な授業を重視したカリキュラム

○アドミッション・ポリシー

本養成所の教育の目的は「誠実で有為な幼稚園教員、保育士を養成する」ことである。よって次のような人を求める。

- ①保育者になる強い意志を有している。
- ②保育者に求められる専門的な知識や技能の習得に意欲的である。
- ③他者を尊重し、互いにコミュニケーションをとり、協働する姿勢がある。
- ④基本的生活習慣が身についており、自己管理ができる。

2 沿革

明治21年10月 5日	東京府教育会附属保姆傳習所として芝罘布共立幼稚園内に創立
大正15年 1月15日	府市合併による帝都教育会の発足とともに、その附属として東京女子師範学校内に移転
昭和18年 7月 1日	都制実施により東京都教育会の経営に移る
昭和24年 3月31日	東京都教育会の解散に伴い、社団法人東京師範同窓会の経営に移り、竹早教員養成所と改称
昭和24年 5月13日	東京師範同窓会理事長に橋本健太郎就任、翌年4月1日専任所長に就任
昭和28年 3月10日	社団法人東京学芸大学同窓会の経営に移る
昭和32年 1月25日	学校法人認可（学校法人竹早教員養成所）文部省指定教員養成機関認可、初代理事長・所長に橋本健太郎就任
昭和32年 4月27日	幼稚園教諭二級普通免許授与の指定（文部省）
昭和32年 7月 5日	文京区小石川4丁目1番16号に2階建新校舎竣工
昭和36年	校歌制定
昭和38年10月 5日	創立75周年記念式典を挙げる

昭和40年	9月14日	学校法人竹早教員養成所を学校法人竹早学園に組織変更認可 学校法人竹早学園つつじがおか幼稚園設置認可 初代園長に橋本健太郎就任
昭和40年11月	14日	つつじがおか幼稚園開園式挙行
昭和41年	4月1日	第2代所長に三浦義雄就任
昭和42年	6月11日	竹早教員養成所校舎三階増築
昭和43年	4月1日	第2代園長に古林清就任
昭和45年	4月1日	第3代所長に山崎道夫就任
昭和46年	3月10日	竹早教員養成所用として運動場用地購入(643㎡ 現第1校舎)
昭和47年	4月1日	第2代理事長に村山伊之助就任
昭和48年	3月31日	竹早教員養成所第2校舎増築完了
昭和50年	3月31日	竹早教員養成所夜間部廃止
昭和51年	4月1日	第4代所長に松村謙就任
昭和52年	4月1日	竹早教員養成所専修学校(2年制・幼児教育専門課程・幼稚園教員科)認可
昭和53年	4月1日	第3代園長に須田為経就任
昭和54年	1月27日	創立90周年祝賀会を開催
昭和55年10月	16日	第5代所長に小山昌一就任
昭和56年	9月1日	第3代理事長に藤井丈夫就任
昭和56年11月	7日	竹早教員養成所新校舎落成(地上4階建、現第1校舎)
昭和58年	9月1日	第4代理事長に高橋早苗就任
昭和58年10月	1日	第6代所長に照屋邦三就任
昭和59年	1月1日	第4代園長に高橋早苗就任
昭和59年	4月1日	第5代園長に小林一夫就任
昭和61年	2月15日	つつじがおか幼稚園創立20周年記念式挙行
昭和63年10月	5日	創立100周年記念式典
平成2年	3月29日	竹早教員養成所平成2年度の入学者から無期限の幼稚園教員養成機関として指定(文部省)
平成2年	4月1日	第7代所長に向山和彌就任
平成2年	8月29日	第5代理事長に宮本三五郎就任
平成3年	4月1日	第6代園長に栗岩英雄就任
平成3年	4月1日	つつじがおか幼稚園3年保育開始
平成5年	4月1日	つつじがおか幼稚園保育室2室増築及び遊戯室拡張
平成5年	7月	つつじがおか幼稚園プール設置
平成5年	9月2日	第6代理事長に吉田稻美就任
平成5年12月	25日	竹早教員養成所第2校舎(地下1階 地上5階建)落成(昭和32年に建築した校舎を全面改築)
平成6年	8月31日	竹早教員養成所保母を養成する学校として指定(厚生省) つつじがおか幼稚園保育室1室増築
平成7年	1月23日	竹早教員養成所幼稚園教員科の卒業生に専門士の称号を付与することを認定(文部省)
平成7年	4月1日	竹早教員養成所幼稚園教員・保母科設置 校名を「竹早教員保母養成所」と改称

平成 8年12月 4日	竹早教員保育養成所幼稚園教員・保育科の卒業生に専門士の称号を付与することを認定（文部省）
平成 9年 3月 5日	竹早教員保育養成所校地とし東京都文京区小石川4丁目81番地11所在の土地209.67㎡を東京都より購入
平成 9年11月30日	創立110年記念式、橋本健太郎先生胸像除幕式挙行
平成10年 5月 1日	第7代園長に秋山育也就任
平成10年10月19日	竹早教員保育養成所幼稚園教員・保育科の入学定員50名を100名に変更することを承認（厚生省）
平成10年12月22日	竹早教員保育養成所東京都文京区小石川4丁目81番地11に第3校舎（地下1階地上4階建）落成
平成11年 1月13日	竹早教員保育養成所幼稚園教員・保育科の入学定員50名を100名に変更することを承認（文部省）
平成11年 4月 1日	竹早教員保育養成所校名を「竹早教員保育士養成所」と改称 幼稚園教員・保育科を幼稚園教員・保育士科に変更
平成11年 4月16日	竹早教員保育士養成所平成12年度の入学者より男女共学とする
平成12年 9月 1日	竹早教員保育士養成所幼稚園教員・保育士科の入学定員100名を120名に変更することを承認（厚生省）
平成12年12月12日	竹早教員保育士養成所第二部幼稚園教員科入学定員100名を廃止し、幼稚園教員・保育士科の入学定員100名を120名とすることを承認（文部省）
平成16年 4月 1日	第8代所長に松澤剛就任
平成18年 4月 1日	第8代園長に加藤正克就任
平成20年 1月 8日	第7代理事長に石川保徳就任
平成20年 4月 1日	第8代理事長に吉野尚也就任 第9代所長に奥山英男就任
平成22年 3月26日	竹早教員保育士養成所幼稚園教員養成機関として再指定（文部科学大臣）
平成22年 4月 1日	第10代所長に齊藤光一就任
平成22年 9月	つつじがおか幼稚園園舎耐震補強完了
平成22年10月25日	竹早教員保育士養成所校舎耐震診断を実施
平成24年 7月	つつじがおか幼稚園備蓄倉庫設置
平成25年 4月 1日	第9代園長に北村幸江就任
平成25年 7月25日	竹早教員保育士養成所第二校舎土地東京都文京区小石川4丁目80-1、7、8（374.66㎡）を社団法人東京学芸大学同窓会から寄附により取得
平成26年12月 6日	つつじがおか幼稚園50周年記念式挙行
平成28年 9月21日	つつじがおか幼稚園駐輪場増設
平成29年10月 1日	竹早教員保育士養成所創立130周年、及び竹早教員保育士養成所同窓会創立80周年記念式典・祝賀会挙行
平成31年 1月29日	竹早教員保育士養成所幼稚園教員養成機関として再指定（文部科学大臣）
令和 6年 4月 1日	第10代園長に藤井雅人就任 第11代所長に赤津裕子就任

3 設置する学校・課程・学科等

- (1) つつじがおか幼稚園
- (2) 竹早教員保育士養成所 幼児教育専門課程 幼稚園教員・保育士科

4 令和6年度設置学校別入学定員及び収容定員・現員 (現員は令和6年5月1日)

つつじがおか幼稚園

	定員	入園者数	現員
年少	45	26	26
年中	45	4	24
年長	50	0	38
計	140	30	88

竹早教員保育士養成所

	定員	入学者数	現員
一年	120	52	54(2)
二年	120	0	75
計	240	60	129(5)

() は、休学で内数

5 役員・教職員の概要

- (1) 役員
 - ① 理事 9名
 - ② 監事 3名
- (2) 役員交代 退任2名、就任2名
- (3) 評議員 19名
- (4) 教職員構成 (令和6年5月1日現在)

つつじがおか幼稚園		竹早教員保育士養成所	
園長	1	所長	1
教諭	6	専任教員	10
保育補助	3	非常勤講師	33
事務主事	1	事務長	1
非常勤職員	1	事務主事	3

- (5) 教職員の採用及び退職 (専任)

- ① つつじがおか幼稚園
 - 採用 0名
 - 退職 0名
- ② 竹早教員保育士養成所
 - 採用 1名
 - 退職 3名

6 施設の概要

- | | |
|------------|------------------------------|
| (1) 校地面積 | 2 9 6 2 . 5 6 m ² |
| つつじがおか幼稚園 | 1 8 2 5 . 1 7 m ² |
| 竹早教員保育士養成所 | 1 1 3 7 . 3 9 m ² |
| (2) 建物面積 | 4 1 3 3 m ² |
| つつじがおか幼稚園 | 7 2 4 m ² |
| 竹早教員保育士養成所 | 3 4 0 9 m ² |

II. 法人の事業概要

1 令和6年度事業概要

- (1) 理事会、評議員会は当初計画したとおり実施しました。
- (2) 教育の効果的な推進、自己点検評価の運営などを実施しました。
- (3) つつじがおか幼稚園園児募集活動は入園説明会の開催、プレ教室の実施、課外教室の充実、調布私立幼稚園入園フェアへの参加など実施しました。
- (4) 竹早教員保育士養成所学生募集活動は学校説明会の開催、高校訪問、高校内ガイダンスへの参加、首都圏保育専門学校フェアへの参加などを実施しました。
- (5) 財務状況は、つつじがおか幼稚園の園児数の減少、竹早教員保育士養成所の学生数減少の影響により学園全体で支出超過となりました。

2 理事会等開催状況

- | | | | | | |
|----------|------|-------|-----|---------|------------|
| (1) 理事会 | | | | | |
| 第1回 | 令和6年 | 5月21日 | (火) | 午後2時00分 | 本校第一校舎理事長室 |
| 第2回 | 令和6年 | 9月13日 | (金) | 午後2時00分 | 本校第一校舎理事長室 |
| 第3回 | 令和7年 | 1月23日 | (木) | 午後2時00分 | 本校第一校舎理事長室 |
| (2) 評議員会 | | | | | |
| 第1回 | 令和6年 | 5月21日 | (火) | 午後3時30分 | 本校第三校舎第7教室 |
| 第2回 | 令和6年 | 9月13日 | (金) | 午後3時30分 | 本校第一校舎第3教室 |
| 第3回 | 令和7年 | 1月23日 | (木) | 午後3時30分 | 本校第一校舎第3教室 |

3 規程等制定・改定

竹早学園寄付行為の改定（令和7年4月1日施行）
竹早教員保育士養成所学則の改定（令和8年4月1日施行）

4 財務状況等の公開

- (1) 開示の内容
学校法人竹早学園の財務決算書類の一部、事業報告書等を開示しました。
つつじがおか幼稚園の自己評価報告書を開示しました。
竹早教員保育士養成所の高等教育修学支援新制度に対する資料等を開示しました。

(2) 開示方法

- 竹早学園ホームページに掲載しました。
- つつじがおか幼稚園ホームページに掲載しました。
- 竹早教員保育士養成所ホームページに掲載しました。
- 竹早教員保育士養成所「竹早だより」に掲載しました。

5 令和7年度入園・入学選考

- つつじがおか幼稚園は令和6年11月1日に実施しました。
- 竹早教員保育士養成所は、A選考（総合型選抜）1回、B選考（学校推薦型・自己推薦型選抜）3回、B選考（学校推薦型選抜＜指定校＞）2回、C選考（一般選抜）5回実施しました。

6 教育改革の推進

- (1) つつじがおか幼稚園は令和6年度自己評価報告書を作成しました。
- (2) 竹早教員保育士養成所は学生による授業評価を前期、後期、それぞれ各1回、実施しました。
- (3) 竹早教員保育士養成所は令和6年度自己評価報告書を作成し、東京都へ提出しました。
また、学校関係者評価委員会で自己評価報告書を点検しました。

7 広報活動

- つつじがおか幼稚園は、入園希望者対象に入園説明会を1回、拡大プレ教室「あそびの会」を1回、プレ教室を12回実施しました。また、調布私立幼稚園入園フェアに参加しました。
- 竹早教員保育士養成所は、学校説明会を15回、高校訪問を実施しました。また、高校内ガイダンス（資料参加含む）、首都圏保育専門学校フェア（同業他校10校の合同説明会）に参加しました。

8 施設整備主な状況

- (1) つつじがおか幼稚園、トイレ雨漏り壁面修繕工事
- (2) 竹早教員保育士養成所、第1校舎第2教室プロジェクター交換
- (3) 竹早教員保育士養成所、第1校舎学校銘板の設置
- (4) 竹早教員保育士養成所、第2校舎学生ホールリニューアル
- (5) その他、軽微な諸工事の実施及び設備・備品等の整備

Ⅲ. 財務の概要

1 事業活動収支計算書

令和6年度決算における活動区分ごとの収支差額は、教育活動収支では58,643,677円の支出超過、教育活動外収支では690,113円の収入超過となり、経常収支全体では57,953,564円の支出超過となりました。また、特別収支は197,279円の支出超過となりました。

事業活動収入は予算比2,325,330円増の221,245,340円、事業活動支出は予算比21,183,167円減の279,396,183円となりました。この結果、事業活動収入から事業活動支出を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は58,150,843円の支出超過となりました。

基本金組入額合計は185,720円で建物、構築物、機器備品、図書等の取得が計画とおり実施され第1号基本金に組み入れました。この結果、基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を差し引いた当年度収支差額は58,336,563円の支出超過となりました。

(事業活動収支計算書は別表のとおり)

2 貸借対照表について

令和6年度末における資産、負債、基本金、繰越収支差額を前年度末と比較しています。

資産の部合計は1,774,214,156円で、前年度に対し69,946,063円減少しています。有形固定資産は建物、構築物、機器備品、図書等の取得、取替更新等による除却、そして減価の償却により前年度に対し30,102,839円減少しています。特定資産は取崩、組入により前年度に対し91,549,653円減少しています。流動資産は主に現金預金の増加により前年度に対し48,036,468円増加しています。

負債の部合計は40,400,598円で、前年度に対し11,795,220円減少しています。主に前受金の減少による影響とみることができます。

資産から負債を差し引いた純資産の部合計は1,733,813,558円で、前年度に対し58,150,843円減少しています。

(貸借対照表は別表のとおり)

IV. 各部門の活動の状況

1 つつじがおか幼稚園の主な活動

4月 9日	始業式	10月23日	やきいもパーティー
4月10日	入園式	12月 4日～	発表会・合奏発表
4月19日	交通訓練	12月 6日	
5月10日	にこにこ会	12月 7日	発表会・劇発表
5月22日	園児健康診断	12月13日	もちつき体験
5月29日	親子歯科検診	12月16日	おたのしみ会
6月17日	交通訓練	12月18日	終業式
7月 5日	七夕まつり	1月 8日	始業式
7月18日	終業式	1月29日	豆まき会
7月19日	夏季休業中預かり保育開始	2月 8日	作品展
9月 2日	始業式	2月25日	おわかれ会
9月28日	運動会	3月 3日	ひなまつり会
10月 4日	交通訓練	3月17日	終業式
10月16日	60周年記念「風船とばし」	3月18日	修了式

2 竹早教員保育士養成所の主な活動

4月 2日	学業指導・講師連絡会	9月 9日	前期期末試験（2年）
4月 3日	入学式	～13日	
4月 4日	学業指導・学生定期健康診断	9月30日	後期授業開始
4月26日	新入生歓迎会	10月16日	教育実習（1、2年）
5月11日	自然体験（1年）	～29日	
～13日	【国立中央青少年交流の家】	12月21日	保育研究発表会
5月20日	保育実習Ⅰ（施設）・Ⅱ（2年）	1月 6日	授業開始
～6月 1日		1月20日	保育実習Ⅰ（保育所）（1年）
5月30日	幼稚園見学実習（1年）	～2月 1日	
6月14日	体育研修	2月 3日	後期期末試験（2年）
	【国立オリンピックセンター】	～ 7日	
7月 1日	保育実習Ⅰ（施設）、Ⅱ・Ⅲ（2年）	2月17日	後期期末試験（1年）
～7月13日		～21日	
7月23日	前期期末試験（1年）	3月13日	学業指導（2年）
～7月29日		3月14日	学業指導（1、2年）
8月22日	授業開始（2年）	3月15日	卒業式
9月 9日	施設見学実習（1年）	3月17日	学業指導（1年）
9月10日	保育所見学実習（1年）	3月24日	新入生召集日
～11日			

3 竹早学園の主な活動

理事会の議題等

第1回 令和6年5月21日(火) 午後2時 竹早教員保育士養成所第一校舎理事長室

報告事項

竹早教員保育士養成所より

つつじがおか幼稚園より

議事

第1号議案 私立学校法改正に伴う寄付行為の変更について

第2号議案 令和5年度事業・財務決算報告及び監査報告について

その他

第2回 令和6年9月13日(金) 午後2時 竹早教員保育士養成所第一校舎理事長室

報告事項

竹早教員保育士養成所より

つつじがおか幼稚園より

議事

第1号議案 竹早教員保育士養成所入学定員変更に伴う学則の改定について

第2号議案 私立学校法改正に伴う寄付行為の改定について

その他

第3回 令和7年1月13日(木) 午後2時 竹早教員保育士養成所第一校舎理事長室

報告事項

竹早教員保育士養成所より

つつじがおか幼稚園より

議事

第1号議案 人事案件について

第2号議案 退職金について

第3号議案 建物更生共済転換契約について

第4号議案 令和6年度補正予算案について

第5号議案 令和7年度予算案について

第6号議案 竹早教員保育士養成所学則の改定について

第7号議案 竹早教員保育士養成所減価償却特定資産の取崩について

第8号議案 年度末手当について

第9号議案 竹早学園の新構成員案(令和7年5月就任)について

その他

評議員会の議題等

第1回 令和6年5月21日（火）午後3時30分 竹早教員保育士養成所第三校舎第7教室

報告事項

竹早教員保育士養成所より

つつじがおか幼稚園より

議事

第1号議案 私立学校法改正に伴う寄付行為の変更について

第2号議案 令和5年度事業・財務決算報告及び監査報告について

その他

第2回 令和6年9月13日（金）午後3時30分 竹早教員保育士養成所第一校舎第3教室

報告事項

竹早教員保育士養成所より

つつじがおか幼稚園より

議事

第1号議案 竹早教員保育士養成所入学定員変更に伴う学則の改定について

第2号議案 私立学校法改正に伴う寄付行為の改定について

第3回 令和7年1月23日（木）午後3時30分 竹早教員保育士養成所第一校舎第3教室

報告事項

竹早教員保育士養成所より

つつじがおか幼稚園より

議事

第1号議案 人事案件について

第2号議案 退職金について

第3号議案 建物更生共済転換契約について

第4号議案 令和6年度補正予算案について

第5号議案 令和7年度予算案について

第6号議案 竹早教員保育士養成所学則の改定について

第7号議案 竹早教員保育士養成所減価償却特定資産の取崩について

第8号議案 年度末手当について

第9号議案 竹早学園の新構成員案（令和7年5月就任）について

その他

資 金 収 支 計 算 書

令和6年4月 1日から

令和7年3月31日まで

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	160,808,000	161,181,000	△ 373,000
手数料収入	2,250,000	1,056,700	1,193,300
寄付金収入	0	0	0
補助金収入	47,810,000	46,825,038	984,962
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	2,500,000	2,225,160	274,840
受取利息・配当金収入	301,000	690,113	△ 389,113
雑収入	4,191,010	8,295,119	△ 4,104,109
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	66,400,000	23,345,000	43,055,000
その他の収入	100,393,003	122,014,370	△ 21,621,367
資金収入調整勘定	△ 72,600,000	△ 43,902,068	△ 28,697,932
前年度繰越支払資金	237,153,617	237,153,617	/
収入の部 合 計	549,206,630	558,884,049	△ 9,677,419
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	179,385,000	162,707,299	16,677,701
教育研究経費支出	65,200,000	61,917,321	3,282,679
管理経費支出	22,790,000	21,952,825	837,175
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	0	0	0
設備関係支出	4,500,000	801,208	3,698,792
資産運用支出	4,043,350	17,945,972	△ 13,902,622
その他の支出	6,200,000	8,527,597	△ 2,327,597
〔予 備 費〕	0	/	0
資金支出調整勘定	△ 6,200,000	△ 6,500,761	300,761
翌年度繰越支払資金	273,288,280	291,532,588	△ 18,244,308
支出の部 合 計	549,206,630	558,884,049	△ 9,677,419

事業活動収支計算書

令和6年4月 1日から

令和7年3月31日まで

(単位：円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		学生生徒等納付金	160,808,000	161,181,000	△ 373,000
		手数料	2,250,000	1,056,700	1,193,300
		寄付金	560,000	703,040	△ 143,040
		経常費等補助金	47,810,000	46,825,038	984,962
		付随事業収入	2,500,000	2,225,160	274,840
		雑収入	4,191,010	8,295,119	△ 4,104,109
	教育活動収入計	218,119,010	220,286,057	△ 2,167,047	
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		人件費	179,828,350	163,150,649	16,677,701
		教育研究経費	96,600,000	92,976,328	3,623,672
		管理経費	23,150,000	22,322,757	827,243
		徴収不能額等	500,000	480,000	20,000
		教育活動支出計	300,078,350	278,929,734	21,148,616
教育活動収支差額	△ 81,959,340	△ 58,643,677	△ 23,315,663		
教育活動外収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		受取利息・配当金	301,000	690,113	△ 389,113
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	301,000	690,113	△ 389,113
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
		教育活動外収支差額	301,000	690,113	△ 389,113
		経常収支差額	△ 81,658,340	△ 57,953,564	△ 23,704,776
特別収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	500,000	269,170	230,830
		特別収入計	500,000	269,170	230,830
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		資産処分差額	501,000	466,449	34,551
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	501,000	466,449	34,551
		特別収支差額	△ 1,000	△ 197,279	196,279
		〔予備費〕	0		0
基本金組入前当年度収支差額	△ 81,659,340	△ 58,150,843	△ 23,508,497		
基本金組入額合計	△ 1,500,000	△ 185,720	△ 1,314,280		
当年度収支差額	△ 83,159,340	△ 58,336,563	△ 24,822,777		
前年度繰越収支差額	△ 371,388,714	△ 371,394,114	5,400		
基本金取崩額	0	0	0		
翌年度繰越収支差額	△ 454,548,054	△ 429,730,677	△ 24,817,377		
(参考)					
事業活動収入計	218,920,010	221,245,340	△ 2,325,330		
事業活動支出計	300,579,350	279,396,183	21,183,167		

貸 借 対 照 表

令和7年3月31日

(単位：円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	1,470,609,537	1,588,592,068	△ 117,982,531
有形固定資産	1,097,148,877	1,127,251,716	△ 30,102,839
特定資産	241,215,677	332,765,330	△ 91,549,653
その他の固定資産	132,244,983	128,575,022	3,669,961
流動資産	303,604,619	255,568,151	48,036,468
現金預金	291,532,588	237,153,617	54,378,971
その他	12,072,031	18,414,534	△ 6,342,503
資産の部合計	1,774,214,156	1,844,160,219	△ 69,946,063
負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	10,740,850	10,297,500	443,350
流動負債	29,659,748	41,898,318	△ 12,238,570
負債の部合計	40,400,598	52,195,818	△ 11,795,220
純 資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	2,163,544,235	2,163,358,515	185,720
繰越収支差額	△ 429,730,677	△ 371,394,114	△ 58,336,563
純資産の部合計	1,733,813,558	1,791,964,401	△ 58,150,843
負債及び純資産の部合計	1,774,214,156	1,844,160,219	△ 69,946,063